

埼玉印工だより

第110号 平成 21(2009)年 3月 5日発行

発行：埼玉県印刷工業組合 編集・製作：組合広報委員会
☎360-0031 熊谷市末広 1-63 ☎048(524)4186 FAX048(524)7680

URL <http://www.saipia.net>

E-mail saiinkou@orion.ocn.ne.jp



印刷：ときわ印刷株式会社(浦和支部)

[用紙提供：埼玉会]

埼玉工組 平成21年新春賀詞交歓会行わる

川越・氷川会館 2009.1.16 (金)



新理事長 あいさつ



来賓あいさつ 中央会 柏木氏



関連企業代表 あいさつ 浅海氏



開会のことば 佐藤 副理事

埼玉工組平成21年の新春賀詞交歓会が去る1月16日(金)、川越市氷川会館で行われた。工組川越支部のお手伝いをいただいた。参加者は来賓、組合員、関連企業共々80名に手の届く人数で、この厳しい経済状況の中、それぞれが励し合つての苦況突破の意気込みである。涙ぐましい決意が参加者各自を見えない絆で結びつけていた。

プログラムトップは「新春初笑い(落語)」で、埼玉県印刷工業組合の高座を長く務める柳亭燕路師匠。今回の高座には師匠のお弟子と一緒にということで、前座を務めていただく。柳亭こみちさん(二つ目)、女性として咄家を目指す。どうしても柳亭燕路師匠に弟子入りしたいと懇願されて、引受けることになったとか。こみちさんの演目は「でんすけさかな」、女将さんに頼まれて奉公人のごんすけがご亭主の素行を調べるためあとをつけるという咄しである。埼玉工組組合員の皆さん、熱心に聞くあまり、「笑い」を忘れてしまつて、最後までシーンとした会場だった。そのことを指摘されてようやく笑いが上がった。咄家というのは難しいものですね。跡を継いだ燕路さんが古典落語から「芝浜」を選んで、どっぷり泣かせる咄しをご披露

して、会場の皆さんの涙を絞った。さすがに真打ち(失礼!)聞せました。話がやや脱線。新年会は落語のあと、賀詞交歓会本番。プログラム通り順調に進行した。総合司会櫻井豊喜副理事長・兼専務理事がとり仕切る。開会のことばを佐藤伍郎副理事長が述べた。続いて新井正敏理事長が組合員一人一人に語りかけるように話した。「業態変革実践プラン」を少しでも理解し、実際に取り組んでみる事が求められている。そこを理事長としても最も重要点としてとらえてほしいのである。

来賓紹介は渋木理俊副理事長が担当、そして紹介された埼玉県中小企業団体中央会事務局長柏木昭寿さんが来賓のあいさつに立った。関連企業紹介は引続いて渋木副理事長が行い、あいさつは埼玉会会長浅海廣氏が行った。ようやく宴会に入り、中村照雄顧問が乾杯を宣した。互いに杯に注ぎつ注がれつで新年会の交歓が深まる。十分な交流を重ねて、宴は中締めとなり、川越支部市川健治理事が締めた。最後に閉会のことばを岩淵均副理事長が述べて終宴となった。ご参加の皆さん、この1年、お互いに頑張りましょう!!



中村顧問 乾杯



懇親会風景



落語 柳亭燕路師匠



落語鑑賞中



落語 柳亭こみちさん



来賓・関連企業を紹介する
渋木副理事長



市川理事による中締め



執行部紹介



閉会のあいさつ 岩淵副理事長



全国印刷工業組合会長 **水上光啓氏** 来たる！
 経営革新セミナー開催！
「実践！業態変革ワンストップサービスで収益拡大へ」



「仲間だよ〜！」私たちスタッフが講演会の準備に追われる会場に、全印工連水上会長の声が響き渡りました。

それは司会の井坂青年部会長が、打ち合わせの為に講演頂く水上会長に対して、思わず「水上先生…！」と呼んでしまった返答でしたが、かえってこれが会長と私たちの距離を一挙に縮めてくれて、和やかな雰囲気になりました。

そんな親しみやすいお人柄の中にも、確固たる信念を抱いていらっしゃる水上会長を招いての講演会が、平成21年2月12日(水)午後5時より新都心のWith Youさいたまに於いて開催されました。

世相を反映してか、開会の時間にはすでに会場は満員札止め状態。埼玉県印刷工業組合員の皆様が、いかに期待感をもって、何かを求めて参加してくれているのかがわかる盛況ぶりとなりました。

新井理事長のご挨拶、そして洪水副理事長の講師紹介の後、いよいよ講演会です。

テーマは「実践！業態変革ワンストップサービスで収益拡大へ」。以下は講演要旨です。



私たちは今まで言われたとおりに綺麗に印刷することに徹してきました。しかし、お客様は悩んでいます。大量生産・大量消費の時代は終わりました。国内人口は減少し、モノの価値に対する世代間ギャップも増大しつつあります。無駄なコストを抑えながら効果的な販促活動で売上を伸ばしたいというのは、どこの企業にも共通することです。顧客の現況を聞き、より効果的・効率的な販促手法を一緒に考え、印刷に付帯するビジネスをワンストップ的に行うことができれば、印刷物そのものの付加価値も増します。これは決して難しいことではありません。お客様が「困った」「面倒だ」と思っていることにヒントが隠されています。

全印工連は5年前に「業態変革推進プラン」を発信し、昨年度「実践プラン」でさらに歩を進めることになりました。「実践プラン」には業態変革の具体策が「同じ業界の仲間の言葉」で記してあります。もし、実践プランで詰まったら、もう一度「推進プラン」を読んでください。

社会が激変する今、現状維持に固執する方が遥かにリスクが高いでしょう。企業規模に関係なく、先に取り組んでいく者が勝ちます。まず大切なのは「変革したい」と思う経営者の情熱です。そして自社の方向性を明確にして、社員と一体となって取り組むことです。そのためには人材教育は重要です。



TRAQAI
ISO9001 認証取得

一貫生産だからできる自信と信頼

株式会社 永井機械製作所

〒332-0031 埼玉県川口市青木4-3-11
 TEL 048-251-0901 FAX 048-255-4674

URL <http://www.nagaikikai.co.jp> E-mail sales@nagaikikai.co.jp

TFTカラーディスプレイコンピュータ断裁機
 NCW-D7シリーズ(160.137.116.102)



業態変革の基本要件は4つあります。1つ目は「自社の方向性を絞り込むこと、そこに限られた経営資源を集中する」。「推進プラン」の“7 Keys”で自社診断をして現状を再認識し、進めるべき道を決めて行きます。これは、経営者でなければできません。

2つ目は「深耕営業」。業績が厳しいと新規開拓に向いがちですが、余程の武器がない限り成功は難しいです。むしろ既存顧客の中に「宝」があるはず。目線を変え「お客様の為に…」できることを深堀します。これがワンストップサービスの原点になります。



3つ目は「逆転の発想」。少子高齢化で市場は縮小すると言われていますが、裏を返せば、親が子供1人に多くの教育費をかけ、高齢者が様々なライフスタイルを楽しむことで、新たなビジネスの可能性が発生します。

4つ目は「ベンチャー精神」。変革をあきらめず、失敗したらすぐに検証し立て直す精神が必要です。ただし、激変する社会の中で“賞味期限”を迎えていく事業もあります。その認識を持って素早く対応していくことも必要です。

紙には紙の、ネットにはネットの良さがあります。紙にはすぐに取り出せて読めるという利点があり、情報検索にはネットが有利です。重要なのは消費者にとってどちらが便利かということです。情報加工のプロである我々はどちらにも対応できるはず。

企業の販促活動には企画から納品までの様々な業務があるのです。サポートすべき内容は各社で異なりますが、少し

ずつ事業領域を拡大し、トータルで支援できる態勢を築いていきます。当然一社で全てを賄うことはできませんので、企業同士のコラボレーションが不可欠になります。

印刷には人間の感性を形にできる力があります。紙の上にインキを載せるだけでなく、感性価値を載せることができます。それは、五感に訴える力を持っていて、その力を上手く活用できれば永遠に社会に貢献できます。

業態変革に終わりはなく、印刷を核にまだまだワンストップサービスで領域拡大ができると信じて「魅力ある産業をみんなで作っていきましょう!」と締めくくりました。



時間が経つのも忘れるくらい聴講者を魅了する内容とわかりやすく聞きやすい話し方は、全員が充実感を抱くだけでなく、自分自身の中に少なからず自信を抱くことができたのではないかと思います。

佐藤副理事長の「あとは実践することが大切!」との謝辞で講演会を無事終了致しました。

その後、会場をホテルブリランテ武蔵野に移し、水上会長にもご出席頂き、立食パーティでの懇親会を開催いたしました。

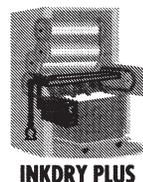
司会は大川青年部副会長。まずは新井理事長のご挨拶、そして設楽社長の乾杯で開宴です。

ここでも水上会長は参加者といくつもの輪の中で“仲間”同士の様々な会話を楽しんでらっしゃいました。会長が鉄道ファンであることが発覚しましたので、鉄道博物館のある鉄道の町「大宮」に、また再び足を運んでくださることを願いつつ、櫻井副理事長の中々めめでお開きとなりました。(大谷)



印刷機材の総合商社

KINSEISHA
CO., LTD. 株式会社 錦精社



【機器販売】

アダストドミナント印刷機械総販売元
INK DRY PLUS (IR乾燥装置)

印刷機・DTP関連機器
製版・断裁・製本機械
印刷用資材 (PS版・インキ・薬品・その他)

さいたま支店

◇ JR京浜東北線北浦和駅下車 徒歩15分
◇ 〒 336-0072 さいたま市浦和区領家 5-12-16
◇ TEL 048-886-8781 FAX 048-886-8855

平成21年2月14・15日

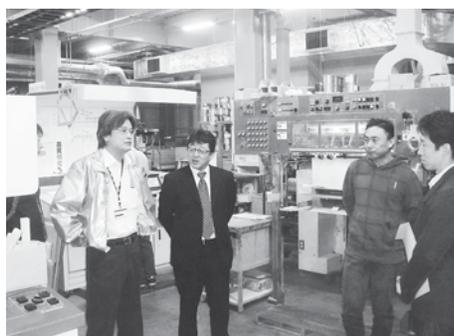
青年部会 研修旅行記

(株) NPC コーポレーション～熱海温泉



毎年恒例となっている青年部会の研修旅行が、2月14・15日の日程で実施されました。例年は秋の行事なのですが、今年度は新年会と併せての開催ということで、この時期になりました。

今回の旅行の目玉は、戸田市にある(株) NPC コーポレーション様の会社見学です。こちらは大手印刷会社からの下請け業務をメインに、24時間体制で稼働している印刷会社です。大きな特徴として、設備されている印刷機が全て三菱のDAIYAシリーズで揃えられています。



菊半裁4色

機、菊全判2～9色機全5台、更に四六全判6色機+コーター機1台という充実ぶりで、工場見学の申し込みも多数あるということでした。設備の内容もさることながら、品質管理、社員教育の徹底ぶりも見習うべき点が多くあり、大変勉強になりました。

その後、今回の会社見学のセッティングをしてくれた恵副会長の会社も近所だということで、急遽見学させてもらいました。恵さん、そしてNPC コーポレーションの岡田社長、色々ありがとうございました。



見学後一行は六本木で昼食をとり、一路熱海温泉へ。夜の宴会はいつもどおりの大盛り上がりでした。もはや説明する必要はないと思います。

同業他社の会社見学は、色々と刺激のある貴重な経験であり、なかなか出来るものではありません。こうした会社見学を受け入れてもらえるのも組合員のメリットだと思います。青年部では、今後も様々な研修やイベントを企画していきますので、皆様の積極的な参加をお待ちしています。

副会長 (株)三興社印刷所 大川正行

(株)トータル保険サービス

〒105-0012 東京都港区芝大門1-2-13第一丁子家ビル
【お問い合わせ・ご連絡先】 TEL 0120-30-7013

保険料が一生上がらない「医療保険」しかも「がん保険」も付く

一生しつらぬ医療保険
EVER
エヴァー

医療の進化にあわせた、アフラックのいちばん新しい「がん保険」

がん保険
アフラックのがん保険
アフラック

お手軽な保険料で一生続く医療保障

【がん保険f(フォルテ)】【EVER】

<引受保険会社>

アフラック(アメリカンファミリー生命保険会社)
金融第一営業部

TEL 03-3344-2894

〒163-0456 新宿区西新宿2-1-1 新宿三井ビル19F

<募集代理店>

(株)トータル保険サービス

〒105-0012 港区芝大門1-2-13

* 詳しくはパンフレットをご覧ください。

AF003-2008-0564 11月6日

フリーダイヤル 0120-30-7013

この春、**も**「小江戸川越」が**しゅ**趣役です!!

観光のお問合せ
川越市川越駅観光案内所
TEL:049-222-5556
(受付時間9:00~16:30)

～ぶらり歩けば、うれし、なつかし。歴史と文化が薫るまち。～

3月30日(月)にスタートするNHK連続テレビ小説「つばさ」。母のような「娘」と、娘のような「母」が繰り広げる物語の舞台は「小江戸川越」です。春の陽気に誘われて、ぜひ一度、ドラマの舞台を散策してみてください。江戸幕府の北の守りとして栄えた城下町には、今もなお、江戸文化の色合いが数多く残っています。15分のドラマでは観られない、旅の趣役。「川越」に来て、“小江戸情緒”にどっぷり、ひたりましょう。

観る! 見どころ盛りだくさんの「小江戸川越」。《蔵のまちエリア》・《喜多院エリア》・《本丸御殿エリア》の3つのエリアに分けて、人気スポットをご紹介します。

蔵のまち エリア



蔵のまち

◆多くの観光客でにぎわう「蔵のまち」。類焼を防ぐための耐火建築としてすぐれていた「蔵造り」が、江戸の町に立ち並ぶようになると、江戸との取り引きが活発だった川越でも建てられるようになりました。現在の「蔵のまち」のほとんどは、明治26年(1893)の「川越大火」に見舞われた

教訓から、川越商人が耐火性のある「土蔵のまちづくり」に取り組んだものですが、もはや東京では見ることができない江戸の面影をとどめ、平成11年には国の「重要伝統的建造物群保存地区」に、平成19年には「美しい日本の歴史的風土100選」に選定されています。◆ノスタルジックな雰囲気にもまれ、大人も子どももみんながワクワクしてしまう「菓子屋横丁」。昭和初期には70余軒が軒を連ね、数多くの菓子を製造していました。現在は、20数軒が店を構え、素朴で昔懐かしい味をはじめ、それぞれが工夫を凝らした



菓子屋横丁

駄菓子類を製造・販売しています。時代が変わっても、温かな人情味があふれ、訪れる人々に安らぎを与えてくれる横丁。ハッカ飴や駄菓子、焼き団子の香りは、平成13年に「かおり風景百選」に選ばれています。◆約400年前から、城下町に時を知らせてきた川越のシンボル「時の鐘」。「蔵のまち」にひときわ目立つその高さは奈良の大仏と同じだとか。現在建っているのは四代目に当たり、「川越大火」直後に再建されたものです。午前6時・正午・午後3時・午後6時の1日4回、荘厳な音を小江戸の街に響かせる「時の鐘」は、平成8年に「残したい日本の音風景百選」に選ばれています。



時の鐘

食べる!

「九里四里(栗より)うまい十三里」と謳って焼いも屋が売った、江戸庶民の人気スイーツ「川越のさつまいも」。「十三里」というのは、「九里」+「四里」のシャレ。「日本橋」から「川越」までの里程(道のり)だとの説もあります。いも煎餅・いもアイス・いもドーナツ・いもビールなど、お土産品もバラエティに富んでいます。食べ歩くなら、菓子屋横丁にある「いもスティック」(写真)が手軽です。



驚く! 小江戸の華! 川越まつり

開催は、毎年10月、第3土・日曜日
(10月14・15日が土・日の場合はこの日)。

◆国の重要無形民俗文化財に指定されている「川越まつり」は、川越城主・松平信綱が氷川神社へ神輿などを寄進したことに始まり、江戸の「山王祭」・「神田祭」の様式を取り入れながら変遷を重ね、およそ350年にわたって受け継がれてきました。江戸情緒あふれる「蔵のまち」を舞台に、絢爛豪華な山車が巡行する大迫力。山車どうしが出合うと互いに向き合い、お囃子を披露しあう「曳っかわせ」は、「川越まつり」の醍醐味です。◆「蔵のまち」にある「川越まつり会館」では、「川越まつり」に使われる本物の山車2台が常設展示され、年間を通していつでも「川越まつり」の雰囲気を感じることができます。日曜日と休日の午後1時30分と午後2時30分からは、約20分間お囃子の実演を楽しめます。



川越まつり会館

◆平安時代の創建とされる「喜多院」。徳川家康の厚い信頼を得た天海僧正が第27世住職になると、江戸城から「家光誕生の間」や家光の乳母・春日局が使用していた「春日局化粧の間」などが移築され、徳川家とのゆかり深い多くの文化財が所蔵されています。境内にある「五百羅漢」は、天明2年(1782)から約50年をかけて作られたもの。538体の石仏が、人間の喜怒哀楽の様々な表情を見せて、観光客の人気を集めています。◆「川越のお不動様」として親しまれる「成田山川越別院」。毎月28日に骨董品が並ぶ「のみの市」が開催されています。

喜多院 エリア

◆平安時代の創建とされる「喜多院」。徳川家康の厚い信頼を得た天海僧正が第27世住職になると、江戸城から「家光誕生の間」や家光の乳母・春日局が使用していた「春日局化粧の間」などが移築され、徳川家とのゆかり深い多くの文化財が所蔵されています。境内にある「五百羅漢」は、天明2年(1782)から約50年をかけて作られたもの。538体の石仏が、人間の喜怒哀楽の様々な表情を見せて、観光客の人気を集めています。◆「川越のお不動様」として親しまれる「成田山川越別院」。毎月28日に骨董品が並ぶ「のみの市」が開催されています。

◆扇谷上杉持朝が、家臣の太田道真・道灌父子に命じて長禄元年(1457)に築城した「川越城」。現在は嘉永元年(1848)建造の「本丸御殿」の玄関部分と移築復元された「家老詰所」が残っています(保存修理工事のため、平成23年3月まで休館)。



五百羅漢

本丸御殿 エリア

◆日本一の木製大鳥居がそびえる「川越氷川神社」は縁結びで有名。「三芳野神社」はわらべうた「とおりゃんせ」発祥の地。「小江戸の杜」には、「市立博物館」や「市立美術館」が近接し、落ち着いたひとときを過ごせます。

◆日本一の木製大鳥居がそびえる「川越氷川神社」は縁結びで有名。「三芳野神社」はわらべうた「とおりゃんせ」発祥の地。「小江戸の杜」には、「市立博物館」や「市立美術館」が近接し、落ち着いたひとときを過ごせます。



本丸御殿



川越まつり

巡る!

各観光エリアへの移動は、便利なバスをご利用できます。
※詳細は、各バス会社にお問合せください。

■小江戸巡回バス
1日フリー乗車券 (乗り放題):500円。
川越駅西口を出発。
レトロなデザインのバスで、主な観光スポットを巡回します。
イーグルバス(株)
TEL:049-226-0111
(土・日・祭日は TEL:049-223-3711)

■小江戸名所めぐりバス
1日フリー乗車券 (乗り放題):300円。
川越駅東口3番バス乗り場発。
指定区間内(市街地周辺)の東武バスも1日乗り放題です。
東武バスウエスト川越営業事務所 / TEL:049-222-0671

●蔵のまち エリア ●喜多院 エリア ●本丸御殿 エリア

笑う!

さあ、川越にいらっしやい。家族と友人と恋人と、楽しくハッピーなひとときをお過ごしください。

◎川越までのアクセスは…

電車
利用の場合

■川越駅下車
大宮から:JR川越線 約20分
池袋から:東武東上線急行 約30分
新宿から:JR埼京線快速 約50分

■本川越駅下車
西武新宿から:西武新宿線急行 約60分

車
利用の場合

■関越自動車道:練馬I.C.~川越I.C. 21.2km
■首都高速埼玉大宮線:与野I.C.~川越市街 15km
■国道16号:八王子~川越市街 36km
■国道254号:池袋~川越市街 32km

事業主の皆さんへ

次世代育成支援対策推進法に基づく

一般事業主行動計画の策定・届出はお済みですか？

～専門のコンサルタントがお手伝いします～ **無料で**

行動計画の策定、実施によって、社員が仕事と家庭をバランスよく両立しながら働き続けることができる、魅力ある職場を作り、優秀な社員の採用、社員の意欲や満足度の向上を目指しませんか？さらに、行動計画実施後一定の基準を満たした企業は「認定」により子育てサポート企業であることをアピールできます。

◆行動計画策定に関する疑問にお答えいたします！

訪問、来局、電話等適宜な方法で行動計画策定のお手伝いをいたします。まずは電話でお問い合わせください。

埼玉労働局雇用均等室

〒330-6016 さいたま市中央区新都心11-2
ランド・アクシス・タワー16階
TEL 048-600-6210 FAX 048-600-6230
HP <http://www.saitama-roudou.go.jp/>

お気軽にお問い合わせください。



ファミリー・フレンドリー・キャラクター
おかあさん ファミちゃん

FUJIFILM



「印刷」が、もっと、地球のためにできること。



“人類社会”に最も貢献した発明の一つと言われる「印刷」が、“地球環境維持に最も貢献した産業”になれるように。FFGSは宣言します。富士フイルムグループの一員として、印刷の、そして地球の未来を見据えた、スケールの大きな環境対策に、広く深く真向から取り組み続けることを。

- FFGSの主な環境対応製品および関連事業
- サーマル無処理CTPプレート
 - ECO&FREE SYSTEM (ET-S)
 - 環境対応印刷関連薬品
 - ECOLI-CHEMICALシリーズ
 - 液交換不要型 湿し水ろ過装置
 - ECOLI-KIREI 100
 - UV関連新事業 Radiset, inca SP320など

富士フイルム グラフィックシステムズ株式会社
本社 〒101-8452 東京都千代田区神田錦町3丁目13番地 竹橋安田ビル TEL.03 (5259) 2300

バックカーボン・ナンバーリング印刷

カッターマシン・伝票丁合
セパレートワックス・減感加工

信頼と技術、ガッツなパートナー

株式会社 **深谷カーボン**

代表取締役 **深町 要一**

ホームページ <http://www.ksky.ne.jp/~youichi/>

電話 (048) 520-1649

FAX (048) 520-1410

埼玉県熊谷市上川上952-5



●洋紙のご需要は地元埼玉の洋紙店を●

埼玉洋紙会

☎ 356-0011 (株)吉岡
ふじみ野市福岡五六二
☎ 049(253)4985
代表取締役社長 吉岡 薫

☎ 330-0004 溝口洋紙(株)
さいたま市見沼区御町一三三三
☎ 048(685)0711
代表取締役社長 溝口 泰男

☎ 367-0047 武正(株)
本庄市前原二一三二五
☎ 0495(24)1171
代表取締役社長 武正 進介

☎ 361-0076 埼玉紙業(株)
行田市天満一五〇
☎ 048(566)4401
代表取締役社長 肥留川 徹

河内屋紙(株)
深谷支店 ☎ 048(572)2525
戸田支店 ☎ 048(422)6371
代表取締役社長 郡司 勝美

☎ 355-0328 (株)大塚紙店
比企郡小川町大塚一〇八
☎ 0493(71)0030
代表取締役社長 大塚 良助

☎ 350-0856 アサナカ紙商事(株)
川越市問屋町四一
☎ 049(224)5111
代表取締役社長 浅海 廣

豊かな新世紀を拓く！

— 新しい時代の『企業づくり』のアドバイザー —

- 印刷関連機器・材料販売
- Macintosh・Windows出力・教育・保守サービス
- ITビジネス支援事業



設楽印刷機材株式会社



本社 〒379-2154 前橋市野中町158-1 TEL027(261)7000(代) FAX027(261)7700
 宇都宮営業所 〒320-0843 宇都宮市花園町17-1 TEL028(633)8324(代) FAX028(635)8385
 埼玉営業所 〒360-0012 熊谷市上之540-15 TEL048(521)9851(代) FAX048(527)0562

「新発売のフォント」も「無料」で追加ご提供します。

契約を継続すると「割引プラン」もご用意します。

WindowsもOK?

「Macintosh&Windows」両方に対応。最先端の環境にします!

「257全フォント」が自由に使えます。

オプションも色々。

噂はフォントだ!

「1年間単位」のシンプルな年間契約でご提供します。

価格が魅力って?

1年間1台
「52,500円」のリーズナブルな価格を実現しました。

「プリンタフォント」も発売開始しました。

印刷対応は?

それって本当?



モリスワを使いこなそう。
MORISAWA
PASSPORT
www.morisawa.co.jp

※使用方法につきましては、エンドユーザーライセンスに基づきます。※価格は消費税込です。※2007年6月現在のフォント情報です。

新組合員特集

会社めぐり

すべてのことに真剣にチャレンジ!!

株式会社 協和テック
代表取締役 浅野 宣勝

埼玉県印刷工業組合を知った切っ掛けは、岩淵副理事長さんとロータリークラブで知り合ったことから始まり、強いお誘いを受け、平成19年9月に入会致しました。今までは日印産連の内に所属しており、埼印工の組織があることさえ知らない状況でした。しかし、入会と共に御多忙の中、新井理事長の訪問を受け、大変感銘している次第です。

そのような人と人の触れ合いを感じる組織であり、組織の内容を少しずつ理解しながら会員の仲間入り出来るようする積もりです。会員各位様より何かと御指導下さりますようお願い致します。

会社設立の経緯

平成4年8月30日にバブル崩壊のあおりを受けて、ある会社のリストラに遭い、サラリーマン生活にピリオドを打ちました。

その時の私の年齢は50歳目前で、再就職は殆ど無理!! 悩んだ末、友人の誘いや今まで築いた関連メーカーなどの誘いで自営業をやることを決心し、平成4年10月スタート致しました。良い時は人は集まるが、ピンチの時は人は散ることも十分理解しました。技術屋である私は営業的センスもなく器用な行動もとれず、真面目にやるしかない、ただ意気込みだけで経営者道を歩み始めました。その時は、妻と子供2人の家庭を持ち、今考えると大した度胸だったなと鳥肌が立ちます。

会社設立後の進展

社会人になって25年間、サラリーマン生活で得た知識を活用して、印刷物の表面加工の仕事を、当初はブローカーとして活動したが、世間は甘くなかった!!

仕事に対する苦楽は感じなかったが、生活が大変!! (当時は社員3人) そんな時、私の姿が気の毒に見えたのかどうか、技術顧問をしてみないかと東洋インキ製造(株)様より話があり、それも大阪とのことで、関東でないこともあり承諾致しました。関西での同業者ではトップクラスである太成二葉産業(株)様で、週2日(金～土)1年間顧問業を兼務しながらでした。報酬は会社の収入とし、情報と技術は共有しながら活動しました。接着剤の水性化、生産効率の向上が主でありました。その後、気になっている開発物件があり、自分では資金不足のため太成二葉産業(株)様の先代様に相談しました。そして常日頃温めていた特許の賛同を得て機械リースの保証をお願いし、完成後の

1号機は優先権を与える条件で開発をスタート致しました。

機械メーカーとも話し合い、実験機を何処に設置するか、大



阪では開発機なので絶えず行き来することは困難とのことで、また先代様に説明し、御理解頂き、自分の手元で開発することが可能になりました。平成5年11月に開発機が導入されると共に工場設置が出来、私にとっては夢の出来事でした。

会社経営を始めた当初から、ブローカーは無理、工場を持たねば、そして同業者と同じことをしていたらその同業者の下請けにしかならない、同業者と一線もしくはその上を行きたいという願望と強い理想がありました。その理念が実現するスタートです。また、先代様から“工場が出来たなら、うちで使用しない中古のラミネーターがあるから安く売るよ!”との御言葉を頂き、開発機と中古のラミネーターを整え、借金を1年後据置の返済条件で実行!それから社員2人を増員し、計5人で「さあー! やるぞー!」の掛け声で、昼間はラミネーター機稼働の売上が中心、夕方は営業、夜は開発機の研究の日々が始まりました。その時から工場での寝泊りが始まり、初めは15年後を目標にしていた家庭生活も20年に延長して、今は家庭生活をしておらず、殆ど会社のソファで寝泊り状態です。(家族に理解されているか疑問ですが。)

その開発機が現在の『LCコート(ラミコートLC)』です。

その開発機が現在の『LCコート(ラミコートLC)』です。



LCコートとは

紫外線硬化樹脂コート(UVコート)の問題を解決した、ラミネート(PP貼)のようなコーティング加工の意味です。

- 1)古紙リサイクルが可能。
- 2)自在にパートコート(スポットコート)が出来る。
- 3)加工時に熱や圧力が殆ど加わらないので、熱に弱い基材やインキに良好。
- 4)表面はハードコートとして耐キズ性が良好。
- 5)表面の表現が、光沢、マット、各種ホログラム、各種エンボス加工でコーティングが出来る。

以上各項の特徴で、現在は書籍の表紙、パッケージの表面、ステッカー、カード、ラベル等、各種分野に利用されるようになりました。

開発当初からシート物が主でしたが、現在は薄物やフィルム等の巻物にもチャレンジし、平成19年5月にLCWコートの商品名で軟包装材料やシュリンクラベル等の巻物にも加工をしています。

現在、第1工場と第2工場所を有する従業員38名、機械はラミネーター機4台、自社開発機LCコート機4台、ロールコーター機1台UVスクリーン機1台、箔押し機1台、その他付帯設備一

式で、会社経営をさせて頂いております。

私の経営教訓として、全てのことに真剣にチャレンジ、解決の努力をして行けば、周りから人が集まり教えてくれる。そして材料、機械、得意先を良くするために努力すれば、必ず知らず知らずに自分に返ってくるものだと思っております。

取り留めのないことを書いてきましたが、若干でも我が社を御理解頂ければ幸いです。今後とも宜しく御鞭撻頂きますようお願い致します。



第三者認証だから信頼できる

FSC 森林認証 好評発売中

名刺・はがき・封筒

「FSCマーク」は適切な森林管理のもとに生まれた木材が正しく加工・流通されていることを証明するマークです。認証なしには刷り込みできません。「FSCマーク」印刷済の当製品をご利用下さい。

山櫻は、FSC森林認証紙製品における売上金額の1%をWWF(世界自然保護基金)に寄付いたします

株式会社 山櫻 大宮支店 〒331-0814 さいたま市北区東大成町2-516
http://www.yamazakura.co.jp TEL.048-663-1982 FAX.048-663-3510



山櫻
FSC
CU-COC-805541
© 1996 Forest Stewardship Council A.C.

FSCの認証製品をご購入いただくことは、世界の森林の責任ある管理推進に役立ちます。

機材部
Total Supply for Print
写真製版機材・インキから印刷機まで全ておまかせ

写真製版部
Assistance for More Comfort
一步リードした製版システム技術
未来型印刷産業をクリエイト

グラフィックアーツシステム部
Consultation for Progress
プロフェッショナルなDTP・プリプレス
Macintoshからハイインドシステムまで
業務にあったシステム、設計から運用まで、トータルでサポート
自費出版・カタログ・社内報・会社案内・チラシなどの制作をお手伝いします。

株式会社 堀口プロセス機材

本社 群馬県渋川市1783	営業本部・写真製版部 北群馬郡吉岡町大字小倉字北田461-3 TEL (0279)23-1319 (0279)54-7575 FAX (0279)54-3553	長野事務所 長野市大字栗田16 伊藤ビル1F TEL (0262)28-1502 FAX (0262)28-3735
-------------------------	--	--

株式会社 **ムトウユニパック** 

よいものだけを・・・

身近な暮らしの中で活躍する封筒やDMなどを中心に、販売促進支援ツールからオフィス用品まで、豊富なラインアップをご用意。「よいものだけを・・・」というコンセプトのもと、常に人と人の心のふれあいの原点を見つめ続け、高品質なコミュニケーションツールをお届けしてきたムトウユニパックが、あらゆるビジネスニーズにきめ細かくお応えします。

- 封筒事業 ●名刺・カード事業 ●手提袋事業 ●エコロジー商品
- SP支援事業 ●ダイレクトメールサービス事業

さいたま支店 / 埼玉県さいたま市大宮区堀の内町1-698-1
TEL 048-647-6100代 FAX 048-644-4414
http://www.mutoh-u.co.jp

＝経済的で使いやすいレンタルウエス＝

ラフト資材株式会社
代表取締役 小野義樹

E-Mail:fwhd2901@mb.infoweb.ne.jp
URL:http://www.raft-inc.ne.jp

本社/営業部: 〒174-0051 東京都板橋区小豆沢 4-14-35
tel:03-3965-7231 fax:03-3967-8795

美里工場: 〒367-0102 埼玉県児玉郡美里町 280-1
(iso14001 認証取得) tel:0495-76-1315 fax:0495-76-2742

新組合員特集

会 社 め ぐ り

よりよい明日のために

渡辺美術印刷株式会社
代表取締役社長 関根 薫

私共は昭和 25 年北海道札幌市で創業し、昭和 35 年に東京都に進出いたしました。当時は、雪印乳業、合同酒精等北海道の企業を主要取引先としておりましたが、昭和 38 年に埼玉県浦和市(当時)に工場を建設し、現在では大手印刷会社を主要取引先として本社、工場ともにさいたま市に置いて活動を続けております。

創業者である私の父が平成 6 年に他界した後は、バブル後の失われた 10 数年を受注単価の急落と戦いながら生きて参りました。2002 年からは 5 年計画で会社の設備を両面機に入れ替え、CTP のシステムを導入するとともに ISO14001 を取得して、社内改革に取り組みました。現在の設備は 10 色機 1 台、8 色機 2 台、5 色機 1 台、4 色機 1 台(いずれも菊全)です。



両面 10 色機

5 年計画が終わり、やっと一息と思っていたら今度は 100 年に一度の大不況の嵐がやってきました。会社の数字は正直に現実を反映して、経営者にさらなる対策を迫ります。実のところは、ほんとうにもう皆疲れ果てているのですが、ゆるむ心にねじを巻き直してこの 3 月に、19 年働いてもらった片面 4 色機を売却し、土日を含めた 24 時間 31 胴体制で工場を稼働することにいたしました。今後はさらなる生産性の追求とお客様へのサービスの拡充を目



ケミカルレス CTP システム

指します。まさに、社員一同心をひとつにしての背水の陣でございます。

昨年暮れ、工業組合から会報とともに 3 枚のコピーが送られてまいりました。その中に朝日新聞の切り抜きが入ってまいりました。「組織はすべて、人と社会をよりよいものにするために存在する」ドラッカーの経営思想の真髄ともいえる言葉が胸に響きました。

国内では、大手企業の業績の急激な悪化による派遣切りや設備投資や消費の冷え込みによる倒産が連日のようににぎやかに報道されている渦中でございます。勇気づけられました。きれいに印刷された会報よりも人の手でコピーされ、無造作にホチキスでとめられた不揃いのコピー 3 枚に、新井理事長はじめスタッフの皆様の暖かい心を読み取ることができ、大変感銘を受けました。

すべての組織の細胞が有機的につながることは、例えばこうしひと手間加えた心遣いのなかに象徴的にあらわれるのだなと思いました。経営者として、人間として、組織の長として、襟を正してこの不況に立ち向かっていこうと思っております。

ともすれば、人と人のつながりが失われてしまいがちな経済的苦境の中にあって、次世代に生き残っていくべき組織とは、多分心と心がしっかりつながった有機的な組織体であり、お客様との堅固なつながりもまた、日々の細やかな心のやりとりのなかにこそ生まれるものであると信じております。

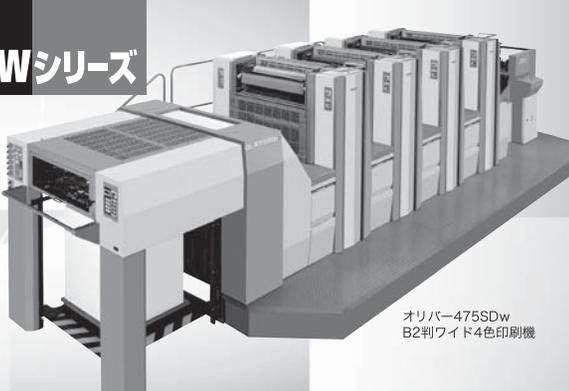
今後ともよろしくご指導のほどお願い申し上げます。

B2判

OLIVER 75SDw/SDPwシリーズ

お仕事の幅を広げます!! **B2判ワイド**

高品位、高精細印刷とともに
最大印刷サイズ 785×560mmを実現



オリバー75SDw
B2判ワイド4色印刷機

最高の製品をお届けすることで、お客様の満足をお約束します

Sakurai
株式会社 桜井グラフィックシステムズ
<http://www.sakurai-igs.co.jp>

本 社
〒138-0032 東京都江東区福住2-2-9
TEL.(03)3643-1131(代) FAX.(03)3643-1138

名古屋営業所
〒451-0084 名古屋市中区上三軒越町2-9-1
TEL.(052)524-5541(代) FAX.(052)524-5545

大阪営業所
〒532-0012 大阪府淀川区木川(東)3-1-31
TEL.(06)6308-6651(代) FAX.(06)6308-6679

九州営業所
〒810-0001 福岡市中央区天神5-6-8
TEL.(092)741-2672(代) FAX.(092)741-2670

岐阜工場
〒501-3733 岐阜県美濃市3951
TEL.(0575)33-1280(代) FAX.(0575)33-3146

ISO 9001 14001 環境管理
品質保証体制

支部だより

熊谷支部

熊谷14日会合同新年会開かる



支部長挨拶



14日会 会長挨拶

熊谷支部・熊谷14日会の合同新年会が2月6日(金)、マロウドイン熊谷にて関連業者の皆様を交え、盛大に開催されました。今年はアトラクションとして、熊谷のアマチュアグループ「落語長屋おもしろ荘」より「丘 一平」さんをお招きし、マジックを楽しんでいただきました。懇親会では、恒例の関連業者様のPRタイムやカラオケで大変盛り上がり、有意義な時間を

共有できたものと思います。支部員、14日会会員、関連業者の皆様、御協力ありがとうございました。本年もよろしくお願いいたします。(大同印刷(株) 飯田一義)



丘 一平さんによるマジックショー

大宮刷機

新年会開催さる



恒例の新年会が、2月6日大宮道山閣に於いて開催されました。今年のご夫婦で参加ということで、約30名の出席を

頂きました。昨年は落語で初笑いでしたが、今年は趣向を変え今年のご夫婦で参加ということで、約30名の出席を頂きました。昨年は落語で初笑いでしたが、今年は趣向を変えて新春福引大会を実施しました。

会長の挨拶につづき溝口洋紙の溝口社長より洋紙の今後の展望についてお話しがりましたが、今年も明るい話は聞けませんでした。

つづいて乾杯の音頭で懇親会がはじまり、日頃のストレスを発散させるかのように大いに飲んで語って唄い、又運だめしの福引とアツという間に予定時間も過ぎ、午後9時に散会となりました。

西部印刷工業組合

総会・新年会開かる

2月7日(土)、西部印刷工業組合平成21年度の通常総会と新年会が開催されました。

西部印刷工業組合は、埼玉県西部地区で印刷業を営む業者の集まりで、例年この時期に総会と新年会を行っています。埼玉印刷工業組合とはほぼ同じくらいの歴史ある団体だと聞いており、常に親睦をモットーに運営されてきました。

今年度の総会・新年会は狭山地区が幹事となり、会場は狭山の味の西村において33社の参加を得て行われました。総会は午後4時より開催され、事業報告、決算報告、事業計画、予算案等が順次審議されました。その中で残念ながら昨

年度に3社の退会があったことが報告されました。

続いて午後5時より関連業者3社のご出席もいただいて、新年会が行われました。組合長挨拶に続いて、埼玉県印刷工業組合の佐藤副理事長より「印刷業の今後のあり方・考え方」等の意義あるお言葉を頂戴いたしました。

又、関連業者を代表してアサナカ紙商事(株)の竹谷氏よりご挨拶をいただきました。関連業者の方々には自己紹介とPRをいただき、なごやかな宴が催されました。盛会裡の内に新年会を終了することができました。

狭山地区 岡野印刷(有) 岡野晴一

人 事 往 来

- 10月29日 中央会情報連絡員協議会研修旅行（富士山レーダードーム館他）事務局出席
- 11月7日 青年部研修会「不透明な環境を生き抜くために中小零細企業が変革すべきものは何か」（宇宙劇場）新井理事長、佐藤・大谷・渋谷各副理事長、事務局出席
- 11月12日 第3回全印工連理事会 業態変革実践プラン勉強会（アジュール竹芝）新井理事長、佐藤副理事長出席
- 11月26日 広報委員会・第3回役員会（熊谷商工会議所）
- 11月27日 関東五県印刷工業厚生年金基金定例監査（基金事務所）佐藤副理事長出席
- 12月5日 青年部役員会（熊谷 あばら家）
- 12月12日 関東五県印刷工業厚生年金基金理事会（ホテルメトロポリタン高崎）新井理事長、新顧問、鈴木氏出席
- 12月17日 正副理事長会（浦和ワシントンホテル）新井理事長、佐藤・岩渕・櫻井・大谷・渋谷各副理事長、事務局出席
- 1月16日 埼玉印工組新春賀詞交歓会（川越氷川会館）
- 1月24日 全青協・第22回全国協議会（ザ・リッツ・カールトン東京）恵協議員出席
- 1月30日 正副理事長セミナー打合せ（アサヒ印刷）新井理事長、櫻井・大谷・渋谷各副理事長、事務局出席
- 2月5日 熊谷支部新年会（マロウドイン熊谷）
- 2月6日 大宮刷機会新年会・新春福引き大会（大宮道山閣）
- 2月12日 経営革新セミナー「実践！業態変革ワンストップサービスで収益拡大へ」（With You さいたま）
- 2月14～15日 青年部研修旅行（熱海 金城館）
- 2月24日 土屋前知事を偲ぶ会（さいたまスーパーアリーナ）新井理事長出席
- 2月26日 中央会情報連絡員協議会新春懇話会（大宮サンパレス）事務局出席
- 2月27日 関東五県印刷工業厚生年金基金代議員会（浦和 千代田）新井理事長、櫻井副理事長、今津・城戸委員、鈴木氏出席

● 訃 報 ●

謹んでご冥福をお祈り申し上げます

- 12月6日 ㈱博文社印刷所（大宮支部）
社長 森本 清光様
- 1月15日 黒田印刷㈱（熊谷支部）
社長 黒田 榮様
- 1月30日 望月印刷㈱（大宮支部）
社長 望月 憲様

編集後記

◇1月16日（金）に川越氷川会館で行われた当工組新年賀詞交歓会、引き続き不況ムードの中で出席者80名近い人数、「我々はまだまだ負けんぞ」の心意気であったか。各種経済指標は十分に「100年に1度の不況」と言えるものである。ならばその「100年に1度」の社会はこれからどうその姿を変化させていくのか、じっくり観察しておきたいものである。そして各自がその生きざまを「証し」として書き記すとしたら、その終章に「不況下での暮らし」の一文を当てたいものである。

◇当紙前109号に編集子は今全国の印工組がとり組んでいる「業態変革」の大運動について、零細事業所としてはとり組む糸口がないと、置いてけぼりの悲哀を記した。それを組合方針への反旗とする向きもあったろうか。賀詞交歓会の折、昨年10月鹿児島であった2008全日本印刷文化典のずっしり重い記録集「紙上フォーラム」が渡された。これに業態変革の何たるかが、水上全印工連会長のメッセージとして、その他業態変革アンケート報告、実践フォーラム、事業所代表報告を主体としてのパネルディスカッション等々で盛りだくさん掲載されている。これを読むと、業態変革とは企業合理化、それも工場、印刷部門、生産現場のみならず、経営方針、営業方針、IT導入を含む、徹底した「革新」をやること、これをやらねば生き残れないということである。パネルディスカッションでは、15～16名の従業員を抱えた事業所の報告が記されている。全く身につまされる話である。企業を続けたいなら「やるきゃない」、問答無用なのだ。（編集子には）とてもそれだけの気力もエネルギーもないが、この報告書を見て、発表者も聴衆も心に沁みるやりとりをしたであろうことを実感した。まだまだ続く業態変革実践の道、組合員各自、心してとり組まれない。（S. O）